



資料 1. アユモドキの過去および現在の分布概要.

黒四角：現在の分布地；黒丸：文献等の記録. 長田・足羽（1998：日本の希少な野生水生生物に関するデータブック（水産庁編），社団法人日本水産資源保護協会）を改変.

(a)



(b)



(c)



(d)



(e)



資料 2. 京都府亀岡市のアユモドキの繁殖および初期生活環境.

(a), (c) 冬季の転倒された可動堰と直上に位置する主要な繁殖環境 (2014 年 2 月). 左側の流れが T 川, 右側が B 川 (申し合わせに従い, 仮称).

(b), (d) 6 月初旬に起立した可動堰と主要な繁殖環境 (2014 年 6 月). 水位の上昇により水没した場所の植生周辺で繁殖が行われる.

(e) B 川に隣接した水田と用水路. 稚魚の一部が B 川を経て, 張り巡らされた用水路に侵入し, 初期生活史を送る. それら用水路を含む水田域の約 14 ha がスタジアムのために開発され, うち下流側約 3.6 ha に「共生ゾーン」が計画されている.